

企画展

画家との対話



西田眞人《夜に舞う》1997年 当館蔵

2023年

4月22日(土) ▶ 6月18日(日)

午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日:月曜日

入館料:一般 200(150)円、大学生と65歳以上 100(50)円

※()内は30名以上の団体料金

- 高校生以下無料(学生証、生徒手帳などをご提示ください)
- 神戸市在住の65歳以上の方は、年齢と住所が証明できるものをご提示で無料
- 障がい者手帳またはスマートフォンアプリ「ミライロID」などのご提示で無料
- 小磯記念美術館、神戸ファッション美術館の入館券(半券)の提示で割引があります

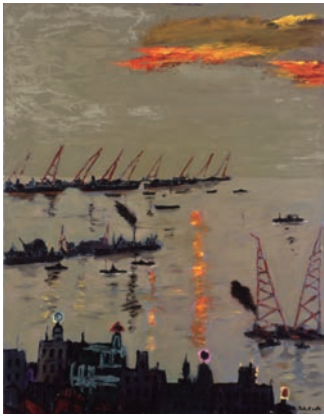


角卓《艶景(異人館)》1991年 当館蔵

神戸ゆかりの美術館
KOBÉ ARTISTS MUSEUM

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中2丁目9-1
TEL (078) 858-1520 FAX (078) 858-1522
<https://www.city.kobe.lg.jp/yukarimuseum/>





小出卓二《神戸港(ポートアイランドを望む)》1974年頃



中右瑛《シェリット・リンド》2004年



古家新《港の展望》1954年頃



白髪一雄《赤のひろがり青い線》1970年



上尾忠生《樹間》1966年



石川晴久《工場裏》1980年代



元永定正《作品 F-004》1970年

画家はなぜ描くのでしょうか。絵画制作は個人的な美的感情に発し、造形上の問題とともに、制作準備や作品に込めたメッセージなどさまざまな要素によって完成されます。このたびの展覧会は、画家に質問したり感想を伝えたりするように作品を鑑賞していただくという試みです。展示作品は、当館のコレクションの中から、比較的大きなものをセレクトしていますので、身体全体でその存在感を体感していただけることと思います。

「画家との対話」へのステップをより軽やかにしていただくために、いくつかの作品には「ある視点」を添えました。鑑賞されるみなさま自身で「作品解説・解釈」をつくる気持ちで、自由に作品をお楽しみください。また、作品を模写することで得られる視点もあります。あらゆる角度から深く鑑賞を極めたい、という方はぜひワークショップにお申し込みください。

【会期中のイベント】

ワークショップ「作品を模写して画家との対話を楽しみましょう」

展示している作品を色鉛筆で模写します。*色鉛筆以外の画材は使えません

- 事前申し込みが必要です。応募者多数の場合は抽選となります。くわしい持ち物等は、当選された方にご連絡します。
- 参加費は無料ですが、一般および大学生の方は入館券が必要です。一般の方は画用紙、スケッチブックなどお好みの用紙もご準備ください(最大寸法40×55cm)。

- 開催時間：午後1時30分～午後4時
- 定員：各日10名
- 開催日と申し込み締め切り日

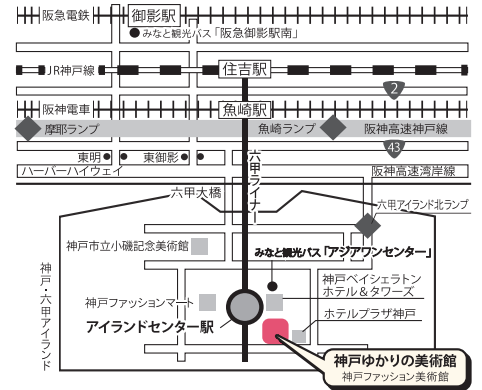
一 般	
実施日	申し込み締め切り日
① 4月26日(水)	4月13日(木)
② 5月10日(水)	4月26日(水)
③ 5月17日(水)	5月2日(火)
④ 5月24日(水)	5月10日(水)
⑤ 5月31日(水)	5月17日(水)

6歳～大学生(四つ切画用紙を1枚お配りします)	
実施日	申し込み締め切り日
① 5月13日(土)	4月27日(木)
② 5月14日(日)	5月12日(金)
③ 5月28日(日)	5月26日(金)
④ 6月10日(土)	
⑤ 6月11日(日)	

※付き添いで入館される方は団体料金。



★申し込みが必要です。美術館HPからお申し込みください。
<https://www.city.kobe.lg.jp/a45010/kanko/bunka/bunkashisetsu/yukarimuseum/event.html>



【交通】

電車 | JR「住吉駅」、阪神「魚崎駅」乗り換え、六甲ライナー「アイランドセンター駅」下車南東すぐ バス | 阪急「御影駅」南側から、みなと観光バス131系統で「アジアワンセンター」下車南へ徒歩3分
 ※車で越えしの方は美術館隣接の神戸ファッションプラザ駐車場(有料)をご利用ください。

神戸ゆかりの美術館
 KOBE ARTISTS MUSEUM

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中2丁目9-1
 TEL (078) 858-1520 FAX (078) 858-1522
<https://www.city.kobe.lg.jp/yukarimuseum/>

【次回展覧会のお知らせ】

特別展 **ながれ・いろどる 墨の世界**
 安東聖空、深山龍洞、山下摩起
 —神戸市立博物館のコレクションから—
 7月1日(土)～9月3日(日)

神戸のかな書を代表する安東聖空(生誕130年、没後40年)と深山龍洞(生誕120年)そして画家・山下摩起(没後50年)の作品を紹介します。墨は、紀元前の中国に起源を持ち、日本最古の記述として『日本書紀』に存在が確認されます。三人の作家の個性が展開する豊かな世界、墨がながれ・いろどる形象をお楽しみください。